

東日本大震災11年

ミホプロジェクト祈りのコンサート

ひまわりの丘

福島の子どもたちとともに



Live Concert

ライブ公演 2022年 **2月25日(金)** 19:00開演(開場30分前)

St. Mary's Cathedral, Tokyo
東京カテドラル聖マリア大聖堂

東京メトロ有楽町線「江戸川橋駅」(出口1a)より徒歩15分
「目白駅」より都バス白61「新宿駅西口行き」にて「ホテル椿山荘東京前」下車徒歩1分

前売3,500円/当日4,000円 限定192席 詩文集付き

チケット取扱い:



チケットぴあ

[Pコード:209419]

セブンイレブン各店舗のマルチコピー機で直接ご購入いただけます

この公演は、オンラインでプレミア配信いたします

Online Premier

プレミア配信 2022年 **3月11日(金)** 14:30~16:00

視聴チケット 2,000円

プレミア配信終了後3月31日(木)まで、何度でも視聴可能

チケット取扱い:



Peatix

<http://mihoproject2022.peatix.com>

クレジットカード決済/コンビニ/ATM支払



主催——ミホプロジェクト

共催——きらきら星ネット



信木美徳

画/詩/朗読

上智大学文学部社会福祉学科、同修士課程修了。3.11直後より避難者支援を開始。〈きらきら星ネット〉を立ち上げ、子どもと家族の生活サポート、保養プログラムなどを続けている。福島の子どもたちから強いインスピレーションを受け、詩文集『ひまわりの丘』を上梓。ミホプロジェクト主宰。



木田いずみ

ソプラノ

立教大学文学部史学科、同修士課程修了。淡野弓子指揮〈ハインリヒ・シュツト合唱団東京〉にて宗教作品を中心に合唱と声楽アンサンブルを学ぶ。アカペラグループ〈アンサンブルQ〉等で活動。近年は歌曲に取り組み、自然な発声と繊細なドイツ語表現で好評を得ている。



富田牧子

チェロ

東京藝術大学、同大学院修士課程修了後、ハンガリーのリスト音楽院に留学。バロック/モダンのチェロにガット弦を張り、作品によって持ち替えながら演奏活動を展開。様々な楽器との組み合わせによるコンサートを企画し、室内楽の楽しさを伝える活動をライフワークとしている。



原田靖子

オルガン

東京藝術大学作曲科、オルガン科卒業。St. Paul International Lutheran Church (Tokyo)オルガニスト、立教学院アシスタント・オルガニストなどを経て、松本市音楽文化ホールオルガニスト。豊かな音楽性と自由な発想力により、ユニークなコンサート企画やアウトリーチ活動を展開している。

Thinking of the Children of Fukushima Miho Project Presents A Charity Concert “The Sunflower Hill” Prayer with Paintings, Poetry and Music English subtitle provides



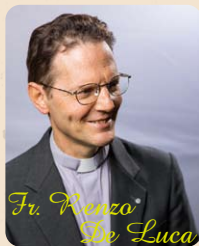
ミホプロジェクトは…

2012年に信木美穂の呼びかけで始まった福島の子どもたちのためのチャリティコンサートプロジェクトで、今回が21回目の公演になります。

震災直後から避難者支援に奔走してきた信木は、福島の子どもたちと過ごすうちに、幼い彼らの親にも言えない本音や、大人の嘘を見つめる真つすぐな心に触れ、やむにやまれぬ思いに駆られて絵と詩の制作を始めました。子どもたちをモデルにした絵と信木自身が朗読する詩、そして朗読に呼応して演奏される古今の音楽を織り合わせた《祈りのコンサート》を、今年東京カテドラル聖マリア大聖堂にて開催いたします。

レンゾ・デルカ神父による短いお話と祈り、発災時刻14時46分のための黙祷に続いて音楽と朗読が始まります。東京電力福島第一原発の事故によって起きたことを今一度心に刻みつつ、皆様とひと時、祈りを共にすることでできれば幸いです。

またこのコンサートは3月11日の発災時刻に合わせてプレミア配信し、その後3月31日までご視聴いただけます。外出を控えている方、遠方の皆様、ぜひ配信をご利用ください。



プログラム

- レンゾ・デルカ神父 (イエズス会日本管区長) のメッセージ
- 14:46のための黙祷
- 詩の朗読と音楽によるコンサート (約75分)
メンデルスゾーン (1809-1847): エルサレムよ! (『聖パウロ』より)
J.S. バッハ (1685-1750): 備えせよ、シオンよ (『クリスマスオラトリオ』より)
近藤浩平 (1965-): 海辺の祈り ……ほか

● コンサートの収益は、以下の団体に寄付します。

Profits will be donated to the following groups

東北教区放射能問題支援対策室 いずみ

UCCJ Tohoku District Nuclear Disaster Relief Task Force “IZUMI”

日本キリスト教団東北教区により2013年に設立された放射能問題支援対策室。原発事故によって疲れ、不安を抱えた人々を対象に、保養プログラムや甲状腺検査、医師による健康相談、訪問と傾聴、また放射能問題に関する講演会や情報提供などを行っている。仙台市にある拠点には独自のエコー検査機を備え、各地への出張も含め、これまでに70回以上の無料エコー検査会を開催、のべ3700人以上が受診している。



甲状腺がん支援グループ あじさいの会

“Ajisai no Kai” Supporting pediatric thyroid cancer patients and their families

郡山を拠点に活動する小児甲状腺がん患者と家族、支援者によるグループ。現在、福島県で見つかった小児甲状腺がんは、専門家や報道機関により、治療が必要のないほど「軽いがん」であるかのように扱われている。患者がより良い治療を受け、より良い生活を送れるよう、当事者同士で情報を共有し、支え合うカフェ事業のほか、セカンドオピニオンの支援や病院への同伴なども行っている。代表・牛山元美医師。



福島県の児童養護施設の子どもの健康を考える会

Foster Care for Infant, Children and Adolescents in Fukushima

福島県内の児童養護施設に措置されている子どもを対象に、低線量被曝の最小限化を中心とした包括的な健康管理事業を行うNPO。施設の線量測定や甲状腺エコー検査／尿検査、健康手帳の提供等を行うほか、職員の健康管理、看護師など専門職の研究会まで多岐に渡る活動を続けている。またコロナ禍で経済的困窮が心配される卒園生に食糧支援や健康手帳を贈るなど、継続的なアウトリーチ型支援を模索している。



● 関連イベント……………詳細はミホプロジェクトHPでご確認下さい

オンライントークイベント「福島原発事故と子どもたち」

2022年2月19日(土) 10:30~12:00

寄付先3団体にそれぞれの活動をご紹介します

信木美穂の詩画集『ひまわりの丘』原画展

2022年3月5日(土)~14日(月)

銀座 教文館3階 ギャラリーステラ tel: 03-3561-8448



【チケット申込・問合せ】———ミホプロジェクト

tel. 03-6317-8916 (ベアータ)

e-mail: mihomihoproject@gmail.com

<https://mihoproject.wordpress.com/>

photo: 木田新一 design: 向井一貞

